

## 1. 鳥栖市の CO2 排出量の削減目標

年度	1990 (基準年)	2021 (短期)	2030 (中期)	2050 (長期)
市民一人当たり CO2 排出量(t)	9.8	8.8	7.8	2.0
1990 年度比	—	▲10%	▲20%	▲80%

直近の目標として2021年までに市民一人当たり CO2 排出量(t)を1990年度比10%削減する必要がある。

## 2. 鳥栖市の CO2 排出量 (出典:環境省地球温暖化対策実行計画(区域施策編)部門別 CO2 排出量の現況推計)

年度		1990	2009	2010	2011	2012	2013
CO2 排出量 (単位:1,000t)	産業	337	258	254	512	456	426
	家庭	49	79	86	121	143	136
	業務	64	142	143	196	211	218
	運輸	95	137	137	135	136	131
	一般廃棄物	3	6	8	10	9	10
	合計	548	623	628	974	955	922
	1990 年度比	—	+13.7%	+14.5%	+77.7%	+74.3%	+68.2%

2013 年度の二酸化炭素排出量は基準年(1990年)と比較すると、全ての部門で大幅に増加している。これは、鳥栖市の人口増加や都市化が原因と考えられる。

前年度の2012年度と比較すると、全体で減少した。これは、東日本大震災以降、節電や省エネの普及が進んだことも原因としてある。

## 3. 鳥栖市の人口及び市民一人当たり CO2 排出量

年度	1990	2009	2010	2011	2012	2013
人口(人)	55,572	67,671	68,600	69,552	70,717	71,490
1990 年度比	—	+21.7%	+23.0%	+24.7%	+27.3%	+28.6%
市民一人当たり CO2 排出量 (t)	9.8	9.2	9.2	14.1	13.5	12.9
1990 年度比	—	▲6.6%	▲6.9%	+42.5%	+36.9%	+31.6%

市民一人当たり CO2 排出量(t)は人口が増加していることもあり、前年度と比較すると減少しているが、目標達成のためには、市民一人当たり 3.1t(24%)削減しなければならない。

#### 4. 戦略別の取り組み実績

##### 1. エコライフの普及促進

○生ごみ処理機購入補助制度の拡充

・今年度から電動生ごみ処理機だけでなく、「コンポスト」等の生ごみ処理容器、「ディスポーザ」に対しても購入補助を行うようにした。

※ディスポーザ：台所シンクに設置することで、生ごみを細かく粉碎し、排水と共に処理する設備。

対象品目	補助額
電動生ごみ処理機・ディスポーザ	購入額の2分の1（上限2万円）
コンポスト、キエーロ等の生ごみ処理容器	購入額の2分の1（上限1万円）

今年度の28件の補助を行った。(内訳：電動生ごみ処理機11件、生ごみ処理容器17件、ディスポーザ0件)(前年度実績：電動生ごみ処理機15件)



↑コンポスト



↑ディスポーザ

##### 2. 省エネ家電・設備の普及促進

○省エネ、エコライフの促進

・とっとちゃんのエコライフのススメ（毎月市報掲載）

内容：エコドライブについて



・市報8月号で、COOL CHOICE（クールチョイス）※1の特集記事を掲載した。

※1 政府は、2030年までに二酸化炭素などの温室効果ガス排出量を2013年度比で26%削減するという目標を掲げています。「COOL CHOICE(=賢い選択)」とは、この目標を達成するために、「製品」、「サービス」、「行動」等地球温暖化対策のために、環境に配慮した賢い選択を行うことです。

地球温暖化を防ぐために「COOL CHOICE」を始めよう!

COOL CHOICE(クールチョイス)=[賢い選択]

政府は、2030年度までに二酸化炭素などの温室効果ガス排出量を2013年度比で26%削減するという目標を掲げています。

「COOL CHOICE(=賢い選択)」とは、この目標の達成に向け「製品」「サービス」「行動」など地球温暖化対策のために、環境に配慮した賢い選択を行うことです。

皆さんも地球温暖化を防ぐために「COOL CHOICE」を始めませんか。

身の回りの「COOL CHOICE」

- 公共交通機関や自転車を利用する(エコドライブ)
- 公共交通機関や自転車を利用する(エコドライブ)
- 環境にやさしい商品を購入する(エコ選択)
- COOL CHOICEのロゴが使用されている商品、パッケージには、二酸化炭素排出量を削減した素材が使用されている。

COOL SHARE(クールシェア)

家のエアコンを替えて、涼しい場所にみんなで行くことをCOOL SHARE(クールシェア)と呼びます。身近な公共施設や民間グループ、民間企業などには「クールシェア」である場合があります。

また、各都府県が「クールシェア」や「エコドライブ」を推進しているため、事前に登録されている。

### 3. 次世代交通の推進

○歩行者・自転車通行帯の確保

歩行者が安全に歩行できるように、車道幅員を縮小し、路側帯を設け、カラー舗装化を行った。

平成 28 年度 舗装面積 983 m<sup>2</sup>



着工前



完了

### 4. 再生可能エネルギーの普及促進

○バイオマスの推進

・鳥栖市浄化センターにおけるメタンガス発電

下水処理過程で発生する汚泥の利用

発電量実績 平成 28 年度 (1 月末現在)

**520,640Kwh**

(※112 世帯分の年間電気使用量に相当)

※ 1 世帯当たり年間電気使用量 4,618Kwh (資源エネルギー庁「家庭のエネルギー消費の実態」)



年度	平成 26 年度	平成 27 年度
発電量実績(Kwh)	621,750	623,220

### 5. スマートコミュニティの構築

○市街地緑化の推進

・緑化樹の配布

【市】鳥栖市花とみどりの推進協議会

・ボランティア団体への緑化事業の支援

【県】公益社団法人 さが緑の基金

